

**令和4年度 第1回  
豊橋市地域公共交通活性化推進協議会**

**次 第**

日時 令和4年6月2日（木）  
午後2時から  
場所 豊橋市役所 講堂（東館13階）

1. 開会

2. 議題

- |        |   |        |
|--------|---|--------|
| 協議案第1号 | 令和3年度事業経過報告及び収入支出決算について                         | …【資料1】 |
| 協議案第2号 | 企業シャトルBaaS 社会実験事業の実施に伴う<br>令和4年度変更収入支出予算（案）について | …【資料2】 |
| 協議案第3号 | 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの臨時運行について                      | …【資料3】 |
| 協議案第4号 | 令和5年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）<br>の策定について          | …【資料4】 |

3. 報告

- |       |  |        |
|-------|--|--------|
| 報告第1号 | 「夏休み小学生50円バス」の実施に伴う運賃の変更について…              | 【資料5】  |
| 報告第2号 | 東部地区「地域生活」バス・タクシー停留所名称の変更について…             | 【資料6】  |
| 報告第3号 | 豊橋市地域公共交通網形成計画に基づく令和3年度実績及び<br>令和4年度予定について | …【資料7】 |
| 報告第4号 | 地域運営団体の取組の報告について                           | …【資料8】 |

4. 意見交換

5. 閉会

令和4年度 第1回  
豊橋市地域公共交通活性化推進協議会 出席者名簿

氏名	職名等	備考
杉木 直	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系准教授	【会長】
森田 康夫	豊橋市副市長	【副会長】 *
駒木 伸比古	愛知大学 地域政策学部教授	【副会長】 欠席
小林 裕之	公益社団法人愛知県バス協会専務理事	【監事】
富田 佳央	豊橋商工会議所議員	【監事】
山内 三奈	国土交通省中部運輸局愛知運輸支局 首席運輸企画専門官(企画調整担当)	(代理)運輸企画専門官 中井 昂翔
大林 益英	愛知県都市・交通局交通対策課担当課長	*
柴田 良昭	豊橋鉄道株式会社常務取締役鉄道部長	
坂本 直也	豊鉄バス株式会社常務取締役	
青木 良浩	豊橋タクシー協会会長 東海交通株式会社代表取締役社長	(代理)専務取締役 竹村 浩一
長縄 則之	豊鉄タクシー株式会社取締役社長	(代理)取締役営業部長 西山 恭昭
長坂 和俊	愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事	(代理)豊橋鉄道労働組合書記長 松下 裕紀
砂野 尚治	豊橋市自治連合会理事	*
朝倉 規幸	豊橋市老人クラブ連合会副会長	
鈴木 真理子	豊橋女性団体連絡会会員	*
泉田 一壽	国土交通省中部地方整備局 名古屋国道事務所計画課長	*
高橋 秀明	愛知県東三河建設事務所企画調整監	*
矢野 正和	愛知県豊橋警察署交通課長	* (代理)交通規制係長 秋葉 有志
前田 幸弘	豊橋市建設部長	* (代理)土木管理課 課長 永野 智久
金子 知永	豊橋市都市計画部長	(代理)都市計画課 課長 佐藤 靖浩

\*の方は、今年新たに委員になられた方です。

オブザーバー

氏名	団体名	備考
赤座 立郎	東山バス運営協議会	会長
河村 高広	北部石巻西川・賀茂線運営協議会	会長 欠席
杉浦 巧倫	北部下条・森岡線運営協議会	会長
山本 義宏	五並地域公共交通運営委員会	会長
神藤 高秀	高豊地域公共交通運営委員会	会長
辻浜 恭浩	しおかぜバス運営協議会	会長
内藤 文男	かわきたバス運営委員会	会長

## 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会規約

(名称)

第1条 この協議会は、豊橋市地域公共交通活性化推進協議会（以下「協議会」という。）という。

(事務所)

第2条 協議会は、事務所を愛知県豊橋市今橋町1番地豊橋市役所内に置く。

(目的)

第3条 協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成19年法律第59号。以下「法」という。）第6条第1項の規定に基づき、地域公共交通計画の作成に関する協議及び地域公共交通計画の実施に係る連絡調整を行うため、さらに道路運送法（昭和26年法律第183号）の規定に基づき、地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため設置する。

(事業)

第4条 協議会は、法第1条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 総合的な地域公共交通施策の推進に関すること。
- (2) 地域の実情に応じた適切な乗合旅客輸送の態様、運賃及び料金等の協議に関すること。
- (3) 地域公共交通計画の策定及び変更の協議に関すること。
- (4) 地域公共交通計画の実施に係る連絡調整に関すること。
- (5) 地域公共交通計画に位置づけられた事業の実施に関すること。
- (6) 前5号に掲げるもののほか、当協議会の目的を達成するために必要なこと。

(協議会の組織)

第5条 協議会は、委員25人以内をもって組織する。

2 協議会の委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命し、又は委嘱する。

- (1) 豊橋市長が指名する者
- (2) 関係する公共交通事業者の代表者又はその指名する者
- (3) 道路管理者又はその指名する者
- (4) 愛知県豊橋警察署長又はその指名する者
- (5) 市民又は地域公共交通の利用者の代表
- (6) 学識経験者その他市町村が必要と認める者

(届出)

第6条 委員は、その氏名及び住所（委員が所属する団体の場合については、その名称、所在地及び代表者の氏名）に変更があったときは、遅滞なく協議会にその旨を届け出なければならない。

（役員の数及び選任）

第7条 協議会に次の役員を置く。

- （1）会 長 1名
- （2）副会長 2名
- （3）監 事 2名

- 2 協議会の会長は、委員の互選により選出する。
- 3 副会長及び監事は、第5条の委員から会長が指名する。
- 4 会長、副会長及び監事は、相互に兼ねることはできない。

（役員の仕事）

第8条 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 3 監事は、次に掲げる業務を行う。
  - （1）協議会の業務執行及び会計の状況を監査すること。
  - （2）前号において不正な事実を発見したときは、これを会議に報告すること。
  - （3）前号の報告をするために必要があるときは、会議を招集すること。

（委員及び役員の仕事）

第9条 委員及び役員の仕事は2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された委員及び役員の仕事は、前任者又は現任者の残任期間とする。

（任期満了又は辞任の場合）

第10条 役員は、その任期が満了し、又は辞任により退任しても、後任の役員が就任するまでの間は、なおその職務を行うものとする。

（役員の仕事）

第11条 協議会は、役員が次の各号のいずれかに該当するときは、会議の議決を経て、その役員を解任することができる。この場合において、協議会は、その会議の開催の日の7日前までに、その役員に対し、その旨を書面をもって通知し、かつ、議決の前に弁明する機会を与えるものとする。

- （1）心身の故障のため、職務の執行に堪えないと認められるとき。

(2) 職務上の義務違反その他役員たるにふさわしくない非行があったとき。

(会議の開催等)

第12条 会議は、会長が議長となる。

2 会議は、毎年1回以上開催する。

3 会議は、次に掲げる場合にも開催する。

(1) 委員現在数の2分の1以上から会議の目的たる事項を示した書面により請求があったとき。

(2) 第8条第3項第3号の規定により監事が招集したとき。

(3) その他会長が必要と認めたとき。

(会議の招集)

第13条 前条第3項第1号の規定により請求があったときは、会長は、その請求のあった日から30日以内に会議を招集しなければならない。

2 会議の招集は、少なくともその開催の7日前までに、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって委員に通知しなければならない。

(会議の議決方法等)

第14条 会議は、委員現在数の過半数の出席がなければ開くことができない。

2 委員は、会議において、各1個の議決権を有する。

3 会議においては、前条第2項によりあらかじめ通知された事項についてのみ議決することができる。ただし、緊急を要する事項については、この限りでない。

4 会議の議事は、第16条に規定するものを除き、出席者の議決権の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 会長は、緊急その他やむを得ない事由があると認めた場合は、書面又は電子記録による意思表示をもって会議の決議があったものとみなす。この場合において、第1項及び第4項の規定を準用する。

(会議の権能)

第15条 会議は、この規約において別に定めるもののほか、次に掲げる事項を議決する。

(1) 事業計画及び収支予算に関すること。

(2) 事業報告及び収支決算に関すること。

(3) 諸規程の制定及び改廃に関すること。

(4) 第4条各号に関すること。

(5) その他協議会の運営に関する重要な事項

(特別議決事項)

第16条 次に掲げる事項は、会議において、出席者の議決権の4分の3以上の多数による議決を必要とする。

- (1) 協議会規約の変更
- (2) 協議会の解散
- (3) 委員の除名
- (4) 役員解任

(代理人による表決)

第17条 やむを得ない理由により会議に出席できない委員は、代理人をもって議決権を行使することができる。

2 前項の代理人は、委任状(様式第1号)を協議会に提出しなければならない。

3 第14条第1項及び第4項並びに第16条の規定の適用については、第1項の規定により議決権を行使した者は、会議に出席したものとみなす。

(協議結果の尊重義務)

第18条 会議で協議が整った事項については、会議の構成員はその協議結果を尊重しなければならない。

(協議が調った事項に関する軽微な変更)

第19条 協議会は、次に掲げる変更に係る協議については、書面による協議を行うことができる。

- (1) 工事等により一時的な迂回が生じる場合の路線の変更
- (2) 運賃に変更のない停留所の変更
- (3) 前2号に掲げるもののほか、会長が軽微と認める変更

(議事録)

第20条 会議の議事については、議事録を作成しなければならない。

2 議事録は、少なくとも次に掲げる事項を記載する。

- (1) 開催日時及び開催場所
- (2) 委員の現在数、当該会議に出席した委員数、第17条第3項により当該会議に出席したと見なされた者の数及び当該会議に出席した委員の氏名
- (3) 議案
- (4) 議事の経過の概要及びその結果

3 議事録は、議長及び当該会議に出席した委員のうちから会長が指名した議事録署名人2名以上が記名押印しなければならない。

4 議事録は、第2条の事務所に備え付けておかななければならない。

(意見の聴取)

第21条 協議会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

(分科会)

第22条 協議会は、第4条各号に定める事項について専門的な調査、検討を行うため、必要に応じて協議会に分科会を置くことができる。

2 分科会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(幹事会)

第23条 協議会は、第4条各号に定める事項その他協議会の運営に当たって必要な事項を処理するため、幹事会を置くことができる。

2 幹事会の組織、運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第24条 協議会は、協議会の運営に関する事務を行うため、豊橋市都市計画部都市交通課内に事務局を置く。

2 事務局には事務局長を置き、豊橋市都市交通課長をもって充てる。

3 事務局員は、豊橋市都市計画部都市交通課職員をもって充てる。

4 協議会の庶務は、事務局長が総括し処理する。

(業務の執行)

第25条 協議会の業務の執行の方法については、この規約で定めるもののほか、別に定める規程による。

(書類及び帳簿の備付け)

第26条 協議会は、第2条の事務所に次に掲げる書類及び帳簿を備え付けておかなければならない。

- (1) 協議会規約及び前条に掲げる規程
- (2) 役員等の氏名及び住所を記載した書面
- (3) 収入及び支出に関する証拠書類及び帳簿
- (4) その他前条に掲げる規程に基づく書類及び帳簿

(事業年度)

第27条 協議会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(資金)

第28条 協議会の資金は、次に掲げるものとする。

- (1) 委員が所属する団体からの負担金
- (2) 国からの補助金
- (3) その他の収入

(収支予算)

第29条 協議会の事業計画及び収支予算は、会長が作成し、事業開始前に会議の議決を得なければならない。

2 委員が所属する団体が直接行う地域公共交通計画に位置付けられた事業の実施に関して、この団体の支出及びこれに伴う収入については、これを協議会の収支とみなす。

(監査等)

第30条 会長は、毎事業年度終了後、次に掲げる書類を作成し、会議の開催の日の7日前までに監事に提出して、その監査を受けなければならない。

- (1) 事業報告書
- (2) 収支計算書
- (3) 財産目録

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し、監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を会議に提出しなければならない。

3 会長は、第1項に掲げる書類及び前項の監査報告書について、会議の承認を得た後、これを第2条の事務所に備え付けておかなければならない。

(報告)

第31条 会長は、次に掲げる書類を、豊橋市長に提出しなければならない。

- (1) 前年度の事業報告書及びその年度の事業計画書
- (2) 前年度末の財産目録
- (3) 前年度の収支計算書及びその年度の収支予算書

(協議会が解散した場合の措置)

第32条 協議会が解散した場合には、協議会の収支は、解散の日をもって打ち切り、会長であった者がこれを決算する。

(委任)

第33条 この規約に定めるもののほか、協議会の事務の運営上必要な事項は会長が別に定める。

附 則

(施行期日)



1 この規約は、平成20年3月28日から施行する。

(経過措置)

2 協議会の設立初年度の委員及び役員の任期については、第9条第1項の規定にかかわらず、平成22年3月31日までとする。

3 協議会の設立初年度の事業年度については、第27条の規定にかかわらず、この規約の施行の日から平成20年3月31日までとする。

附 則

この規約は、平成21年3月26日から施行する。

附 則

この規約は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

(施行期日)

1 この規約は、平成27年3月26日から施行する。

(経過措置)

2 この規約の施行の際、現に計画期間中である地域公共交通総合連携計画の計画期間が満了するまでの期間は、第3条の規定中「行うため」とあるのは、「行うため並びに地域公共交通総合連携計画の作成に関する協議及び地域公共交通総合連携計画の実施に係る連絡調整を行うため」と読み替え、第4条及び第29条の規定中「形成計画」とあるのは、「形成計画及び地域公共交通総合連携計画」と読み替えるものとする。

附 則

この規約は、平成31年2月22日から施行する。

附 則

この規約は、令和3年6月1日から施行する。

## 令和3年度事業経過報告及び収入支出決算について

## 令和3年度事業経過報告

年月日	事業内容	
令和3年5月	・あなたの街の時刻表（豊鉄バス）の配布	玉川・牛川校区（約4,500部）
6月	・第1回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会の開催（書面表決）	豊橋市内
8月	・あなたの街の時刻表（豊鉄バス）の配布	西郷・嵩山・富士見校区 （約3,500部）
9月	・モビリティウィーク期間中の啓発 ・ええじゃないか豊橋カーフリーデー2021の延期	豊橋市内
10月	・あなたの街の時刻表（豊鉄バス）の配布 ・高校生向けエコ通学啓発リーフレットの配布 ●子供向けすごろくの配布、イベントの実施（～令和4年3月） ●第1回おはなしでんの実施（18組42名参加）	下地・大村校区（約3,800部） 豊橋市内
11月	・第2回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会の開催	豊橋市内
12月	・公共交通マップの配布 ・ウォーキングイベント景品の製作	豊橋市内
令和4年2月	・第3回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会の開催 ・ええじゃないか豊橋カーフリーデーチラシの配布 ・あなたの街の時刻表（豊鉄バス）の配布	豊橋市内 岩西・つつじが丘校区 （約5,700部）
3月	・ええじゃないか豊橋カーフリーデーの実施（約2,000名参加） ●まちなか図書館連携イベント「豊橋鉄道展」及びトークショーの実施 ●「あなたの乗り方講座」の実施（レイクタウン線：富士見校区／11名参加、飯村岩崎線：多米校区／16名参加） ●第2回おはなしでんの実施（27組57名参加） ・ええじゃないか豊橋平日お出かけフリー乗車券（市内線）の販売（349枚）	豊橋市内

●は新規事業

## 令和3年度収入支出決算

収入決算額	1,817,826円
支出決算額	1,434,493円
差引残額	383,333円

### 収入の部

科目	予算現額			決算額	比較増減額	摘要
	当初予算	補・流用額	計			
1. 負担金	1,396,000円	0円	1,396,000円	1,395,334円	△ 666円	○豊橋市 1,095,334円 ○豊鉄バス株 200,000円 ○豊橋鉄道株 100,000円
2. 繰越金	415,000円	0円	415,000円	422,492円	7,492円	○令和2年度公共交通利用促進イベント繰越金 422,492円
3. 諸収入	1,000円	0円	1,000円	0円	△ 1,000円	
合計	1,812,000円	0円	1,812,000円	1,817,826円	5,826円	

### 支出の部

科目	予算現額			決算額	不用額	摘要
	当初予算	補・流用額	計			
1. 運営費	111,000円	411,000円	522,000円	521,882円	118円	○会議運営費等 112,529円 ○豊橋市負担金精算 409,353円
2. 事業費	1,700,000円	△ 411,000円	1,289,000円	912,611円	376,389円	○カーフリーデー実施事業 487,417円 ○公共交通利用促進事業 268,784円 ○公共交通利用促進事業補助金(富士見校区・多米校区) 12,410円 ○公共交通マップ 144,000円
3. 予備費	1,000円	0円	1,000円	0円	1,000円	
合計	1,812,000円	0円	1,812,000円	1,434,493円	377,507円	

## 監査報告書

令和3年度豊橋市地域公共交通活性化推進協議会収支決算書及び証拠書類の内容につきまして監査いたしましたところ、いずれも適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

令和4年4月28日

豊橋市地域公共交通活性化推進協議会

監事 富田佳央

監事 小林裕之

企業シャトルBaaS社会実験事業の実施に伴う  
令和4年度変更収入支出予算(案)について

収入予算額	2,854千円
支出予算額	2,854千円
差引残額	0千円

## 収入の部

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和3年度	比較	摘要
1. 負担金	2,469	1,396	1,073	●豊橋市 2,169 ○豊鉄バス(株) 200 ○豊橋鉄道(株) 100
2. 繰越金	384	415	△ 31	○利用促進事業繰越金 384
3. 諸収入	1	1	0	○利子等 1
合計	2,854	1,812	1,042	

## 支出の部

(単位:千円)

科目	令和4年度	令和3年度	比較	摘要
1. 運営費	113	111	2	○会議運営費等 113
2. 事業費	2,740	1,700	1,040	○幹線バス終バス延長実施事業広報費 55 ○カーフリーデー実施事業 957 ○イベントにおける公共交通利用促進事業に対する補助金 40 ○公共交通利用促進事業 884 ○公共交通マップ 180 ●企業シャトルBaaS社会実験事業 624
3. 予備費	1	1	0	
合計	2,854	1,812	1,042	

(支出科目間の流用はできるものとする)

●令和3年度第3回豊橋市地域公共交通活性化推進協議会からの変更箇所です

## 企業シャトル<sup>ベース</sup>BaaS\* 社会実験事業（案）の実施について

### 1. 目的

企業シャトル BaaS 社会実験事業により新しい移動手段を提供することで、県境・市境に近い市民に対する利便性の向上を図り、交通結節点である新所原駅や周辺商業施設等への移動需要、また市内交通ネットワークへの影響を調査・検証することを目的とします。

### 2. 概要

企業が運行するシャトルバスに市民が相乗りする新しい移動手段を、湖西市は様々な企業と連携して令和2年度から実施しています。そのうちの1路線であるデンソー便は豊橋市内も走行していることから、周辺住民が生活の足として活用できるよう今年度から豊橋市内にもバス停を3か所設置します。

#### ■実施期間

令和4年8月1日～令和5年1月31日の月曜日～金曜日

土日祝日、お盆、年末年始を除く（株式会社デンソーの稼働日に準ずる）

#### ■路線、停留所、ダイヤ

裏面のとおり

### 3. 検証方法

実験期間中の利用者数のデータ収集や乗客へのアンケート、さらに株式会社デンソー及び交通事業者への聞き取り等により、この新しい移動手段の本市における位置付けを検討していきます。

### 4. 事前確認事項

令和4年4月 雲谷町、中原町、原町自治会及び交通事業者説明済み

令和4年6月 公安委員会・道路管理者とバス停設置等に係る協議

令和4年7月 湖西市地域公共交通会議と本協議会とで契約締結

### 5. 必要経費

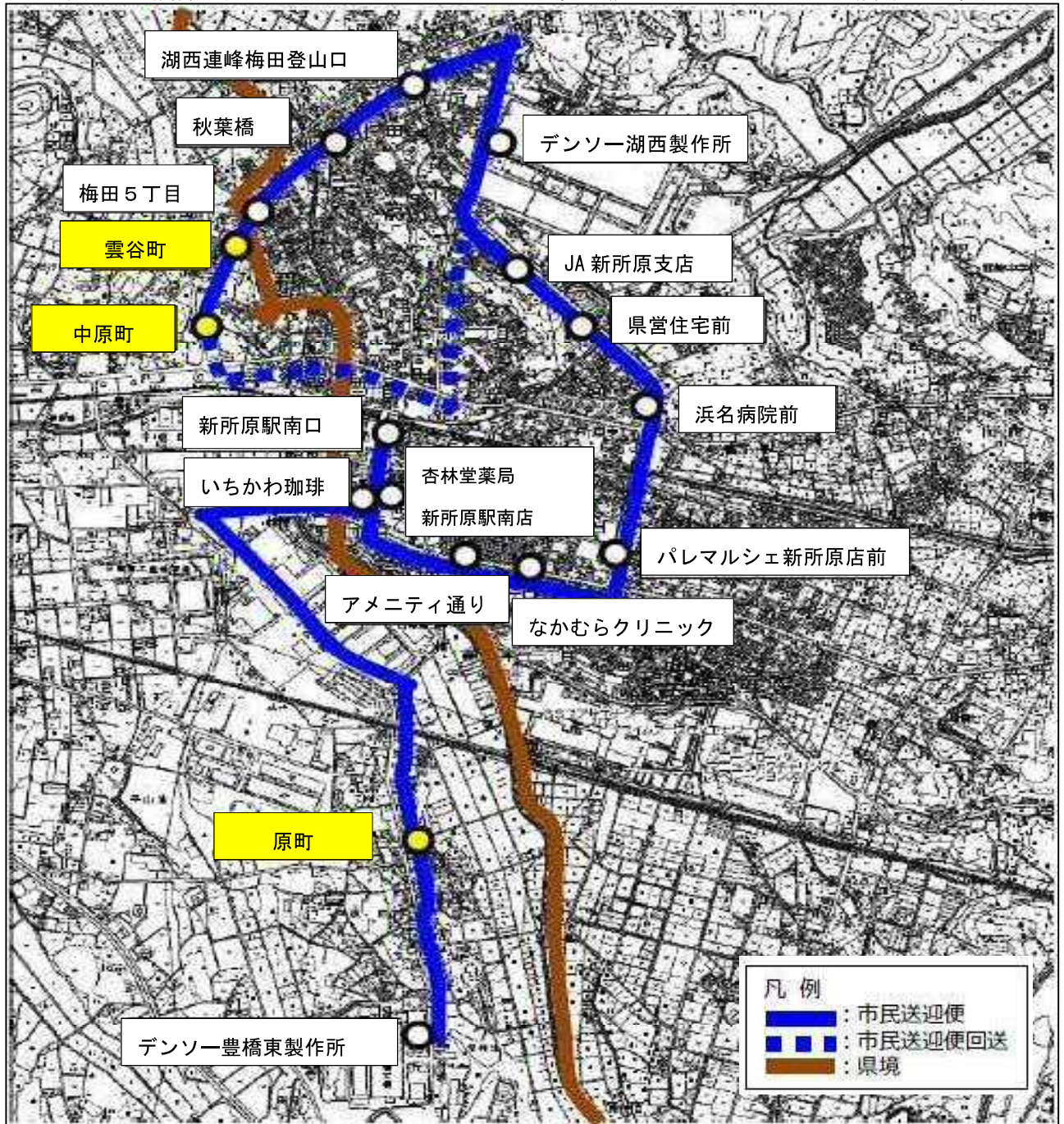
624千円（運行経費負担金、バス停製作費、チラシやアンケートの印刷費、消耗品費）

---

\*BaaS…「Bus（バス）」と、様々な移動手段をシームレスにつなぐ概念「MaaS（マース：Mobility as a Service）」を掛け合わせた造語。



■ 路線・停留所案（湖西市内のバス停は路面表示、豊橋市内のバス停は停留所機材設置）



■ ダイヤ案（抜粋）

デンソー豊橋東製作所 行き			
乗降場所	第1便	第2便	第3便
中原町	9:15	10:20	11:25
雲谷町	9:16	10:21	11:26
新所原駅南口	9:31	10:36	11:41
原町	9:37	10:42	11:47
デンソー豊橋東	9:42	10:47	11:52

デンソー湖西製作所 行き			
乗降場所	第1便	第2便	第3便
デンソー豊橋東	9:45	10:50	11:55
原町	9:50	10:55	12:00
新所原駅南口	9:56	11:01	12:06
雲谷町	10:08	11:13	12:18
中原町	10:10	11:15	12:20

【参考】湖西市企業シャトル<sup>バス</sup>BaaS実証実験（デンソー便）について

1. 事業概要

(1) 路線・系統名

自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）

(2) 運行主体

湖西市

(3) 期間（予定）

令和4年8月1日～令和5年1月31日の月曜日～金曜日

土日祝日、お盆、年末年始を除く（株式会社デンソーの稼働日に準ずる）

(4) 運行車両

株式会社デンソーによるシャトルバスの持込車両（定員20人）

(5) 運賃（予定）

1乗車1人200円程度

最初2か月間はモニター登録者へ専用回数券（往復）を配布

(6) 予約方法

専用番号へ電話（自動音声受付の予定）、または湖西市公式LINE

2. 事業計画の登録日等

令和4年6月 2日 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会において協議

令和4年6月27日 湖西市地域公共交通会議において協議

令和4年7月 1日（予定）湖西市から静岡運輸支局へ事業計画に関する登録申請

令和4年8月 1日 事業計画の登録



## 協議案 3 号

## 前芝地区「地域生活」バス・タクシーの臨時運行について

## 1 臨時運行について

## (1) 目的

運休日である豊橋まつり開催日に、沿線地域に居住する市民が豊橋まつりへ出かけるための移動手段を確保することなどを目的に臨時運行を実施する。

## (2) 運行内容

- ・運行日数 変更後：244 日 変更前：242 日
- ・運行本数 変更後：2,924 本 変更前：2,904 本

## 【上り 梅藪発西駅前行き】

運行日：令和4年10月15日（土）・16日（日）

便名/主要停留所	第3便	第5便	第7便	第9便	第11便
梅藪	8:53	10:53	13:53	15:33	17:23
西浜	8:55	10:55	13:55	15:35	17:25
前芝	9:01	11:01	14:01	15:41	17:31
清須	9:07	11:07	14:07	15:47	17:37
川崎	9:12	11:12	14:12	15:52	17:42
吉田方小学校西	9:15	11:15	14:15	15:55	17:45
菰口町	9:18	11:18	14:18	15:58	17:48
西駅前	9:27	11:27	14:27	16:07	17:57

## 【下り 西駅前発梅藪行き】

運行日：令和4年10月15日（土）・16日（日）

便名/主要停留所	第4便	第6便	第8便	第10便	第12便
西駅前	9:42	11:57	14:42	16:22	18:22
菰口町	9:45	12:00	14:45	16:25	18:25
吉田方小学校西	9:48	12:03	14:48	16:28	18:28
川崎	9:50	12:05	14:50	16:30	18:30
清須	9:56	12:11	14:56	16:36	18:36
前芝	10:02	12:17	15:02	16:42	18:42
西浜	10:08	12:23	15:08	16:48	18:48
梅藪	10:15	12:30	15:15	16:55	18:55

## ・その他

車両、運行経路（キロ程）及び運賃の変更はなし。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、豊橋まつりの開催形態が変更になった場合、運行計画の変更は行わないこととする。

## (3) 運行計画の変更日等

令和4年6月2日 豊橋市地域公共交通活性化推進協議会において合意  
 令和4年6月中 運行事業者から中部運輸局へ運行計画変更に関する届出

令和4年10月15日 運行計画の変更

**(4) 令和5年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画について**

本件の運行計画の変更に伴い「令和5年度豊橋市地域内フィーダー系統確保維持計画」中、「4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」に添付している運行ダイヤを変更する。